

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月18日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 関特別支援学校 大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者 会長 水野 友有 (中部学院大学人間福祉学部人間福祉科准教授)
委員 高木 哲 (岐阜県立ひまわりの丘第一学園 次長) →欠席
吉田 俊一 (Man to ManPasso 株式会社パッソ岐阜校マネージャー)
澤井 基光 (岐阜県民生委員児童委員協議会会長)
清水 恵子 (各務原市福祉の里所長)
増田 裕恵 (PTA代表)
森藤 由幸 (関市民生委員・地域住民代表)
吉田 純也 (株式会社Fデザイナーズ代表取締役)
学 校 側 渡辺 政幸 (校長)
川上 悦子 (事務部長)
三宅 千絵 (教頭)
河田 恭子 (小・中学部主事)
森 雅明 (高等部主事)
藤井 大悟 (教務主任)

5 会議の概要(協議事項)

- ・校長より
- ・委員自己紹介
- ・学校概要の説明 学校運営方針、学部説明
- ・校内授業参観

(1) 作業製品価格について

- ・高等部主事より説明

意見1: カレンダーはもう少し高くてもいいのではないか。カレンダーが6枚(紙の枚数)に対して、コースターは1枚である。

→ 牛乳パックの再利用である。コースターは細かい細工がしてある。

(2) 委員より意見・質問等について

- 意見1：入所している生徒の授業風景が見れてよかった。今日見た学校での活動を施設での活動の参考にしていきたい。
- 意見2：小中高とそれぞれにテーマがあり、つながりも感じた。授業参観では、家庭科の時間に福祉制度を勉強しており、今後自分たちに関係することが社会に出る前に学べていてとてもいい。制度のことを知る大切さを感じた。(複数)
- 意見3：楽器を使っているところを初めて見られてよかった。暖かい雰囲気です少人数でファミリーのような感じがする。少人数だとお互い顔なじみになりやすい。
- 意見4：地域の学校として、地域の学校(下有知小、中部学院、関商工)の交流を大事にしているところがとてもよい。いろいろな方との交流を率先してやってほしい。人とふれあって学ぶことは多い。学校を見てもらうことがわかりあう機会となる。地域住民との交流も今後より活性化してほしい。(複数)
- 意見5：少人数の強みを生かしている。教職員も細かく支援している。児童生徒一人一人が主役となって活動できている。夏祭りの楽しさ、教職員の一体感、いい方向性を感じている。(複数)インクルーシブは難しいが、地域全体が一つとなるモデルとなる活動を示していつている。今後も継続してほしい。応援したい。
- 意見6：昨年度の中部学院学生との交流を児童生徒に聞いて、また教職員から楽しそうだったと聞いていた。ステージ発表でもいつもと違う児童生徒の姿を見られてよかった。いつもと違う人たちとかかわることを続けてほしい。
- 意見7：個に合わせたカリキュラムが組まれている。児童生徒ができたと思える活動が準備されている。教職員の努力が見えた。少人数ではあるが、密度の高いかわりがある。

(3) 委員長あいさつ

- ・学校運営委員会で3年前から地域との交流を話し合ってきた結果、今があると思う。
- ・新しいことをどんどんやっているのすごいです。さらに中部学院大学、関特支だけでなく、地域住民との交流を広げたい。引き続き一緒にやっていきたい。
- ・今後縮小していったときの県の意向はどうか？今の(少人数化ならではの)強みが、どうなるのか？教職員も児童生徒も変わっていく。地域の方だけが残る。その時交流などはどうするのか？どうなるのか？それを皆さんと考えていきたい。
- ・また「新しいことができた」と来年みなさんでお話ししたい。そしてこの会以外でも皆さんと交流を深めたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、参加した全員より今年度の学校経営計画を踏まえた学校運営方針に対して承認を得られた。継続した委員が多いため参観なども通じて継続して取り組んできたことの実践などについて賛同を得られた。作業製品価格についても、適正な価格であると承認を得た。今後は現在取り組んでいることをどう継続していくかが課題となる。